

# 令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 16

千葉県立柏井高等学校 全日制の課程 普通科

## 1 期待する生徒像

本校での高校生活を強く希望しており、次のアからウのいずれかに該当する生徒。

ア 学習成績が優れており、入学後も積極的に学習に取り組む意志を持っている。

イ 部活動・特別活動等に優れた実績又は能力・適性を持ち、入学後もそのことを高校生活に生かし、継続して活動する意志を持っている。

ウ 英語圏のみならず、グローバルな視野を持ち、将来、世界で活躍しようとする意志を持っている。

## 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査 (自己表現)	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア 口頭による自己表現 実施形態：日本語による自己アピール（個人） 検査時間：5分（発表2分、質疑応答3分） イ 部活動実技による自己表現 次の実技のうち1つを選択し、与えられた課題について実技で表現する。 野球（男）・陸上競技（男女）・サッカー（男）・ソフトボール（女）・テニス（男女）・ソフトテニス（男女）・バレーボール（男女）・バスケットボール（男女）・剣道（男女）・卓球（男女） 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は複数人数で実施） 検査時間：種目ごとに50分程度（準備運動・整理運動含む） 一人あたり5分程度

## 3 評価項目及び評価基準

### (1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

### (2) 調査書 [135点満点]

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年いずれかにおいて欠席が20日以上ある場合、または3カ年の欠席の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に積極的に取り組んだと認められる記述がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。（生徒会本部役員、優秀選手、県大会出場・関東大会出場・全国大会出場、漢検・英検等）
エ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

### (3) 学校設定検査（自己表現） [100点満点]

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。

2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ(aa~cc)で得点化する。ただし、いずれかの評価項目でcの評価がある場合は、審議の対象とする。

#### ア 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 態度	身だしなみや基本的礼法・礼儀ができています。
(イ) 意欲	本校を選んだ理由(志望動機)が明確であり、発表に積極的・意欲的に取り組んでいる。
(ウ) 表現力・話し方	内容を明確に伝えている。明瞭かつ正しい言葉遣いで話している。
(エ) 資質・将来性	積極的に取り組み、入学後の活躍が期待できる。

#### イ 部活動実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 態度	真摯で協調的な態度で取り組んでいる。
(イ) 意欲	自己を意欲的に表現している。
(ウ) 能力・技能	基本的な運動能力と技能を身に付けている。
(エ) 資質・将来性	積極的に取り組み、入学後の活躍が期待できる。

## 4 選抜方法

### (1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点 評定 (K=1)	学校設定検査の得点 自己表現	総得点
500点	135点	100点	735点

### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

## 5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。